



CHARTERED JAN,3, 1980

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB

仙台青葉城ワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF SENDAI-AOBAJOH

Sendai YMCA, 9-7 Tachimachi,
Aobaku, Sendai 980-0822 Japan

〒980-0822

仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL(022)222-7533 FAX(022)222-2952 E-mail:info@sendai-ymca.org

== 2015~2016年度 主題 ==

国際会長【信念のあるミッション】Wichian Boonmapajorn (タイ)
アジア地域会長【愛をもって奉仕をしよう】Edward K.W.Ong (シンガポール)
東日本区理事【原点に立って、未来へステップ】渡辺 隆 (甲府)
北東部部長【今と原点を融合して未来へ】中川 典幸 (仙台)
クラブ会長【未来を信じて共に歩もう】菊地 弘生 (仙台青葉城)

VOL. 386

2015年09月

強調月間：ユースの月

<今月の聖句>

主は朝（あした）の光のごとく、必ずあらわれ出でたもう。

（ホセア書第6章3節）

ユースエンパワーでワイズエンパワーしませんか？

先日ある国際 NGO が主催するワークショップに参加しました。国際協力活動や国際 NGO に関わりたい若者が対象でした。基調講演の後、分科会に分かれたところで気がつきました。学生たちが皆、真剣に関わり、恥ずかしがらず、ちゃんと発言し、相手を受け入れる。私のような初者に対しても、物怖じせずに対応してくれるのです。そんな彼らに YMCA のことを話すと、聞いたことがあっても、そもそもどういう団体か知らない。若者が若者のために始めた世界的な団体で、世界中に会員が5千万人いることなど全く知らない。「社会活動したい若者に機会を与えてくれる団体ってすごいですね！」

でももしこの若者たちが YMCA を訪ねて何か活動を始めたい、と持ちかけてきたら、YMCA はどう答えるのでしょうか。何かしたい若者を YMCA に向けるにはどうしたらいいのでしょうか。ユースをエンパワースリとはどういうことでしょうか。



東日本区
ユース事業主任
浅羽 俊一郎
(東京山手クラブ)

ワイズメンに当てはめて考えれば分かりますが、ワイズメンに当てはめて考えれば分かりますが、自分たちが自分たちの責任で活動し、課題に取り組む中でフェロシップを育てています。若者も同じでしょう。

北東部のクラブはユースリーダーズアクトの支援をする実績を積んでいます。参加している若者との交流を通して、若者とワイズのコラボも産まれると思います。収穫を多くするには働き人を増やしましょう。これからの一年、若者とともに歩み、若返りましょう。

8月例会				B F		スマイル	
会員数	13名	メネット	2名	切手	0 kg	今月	9,597円
出席者	9名	ゲスト	9名	現金	0円	累計	9,000円
Make-Up	2名	出席率	84%	累計	0円	ファンド	18,597円

会長	菊地 弘生
副会長	涌澤 博
書記	加藤 重雄
会計	遠藤 勝志
直前会長	南澤 一右
メネ会長	佐藤あつ子
担当主事	青木 絵美

8月・3クラブ合同例会報告

日時 2015年8月6日(木) 18:30~20:30
場所 TKP ガーデンシティ仙台勾当台店
出席者 青木(絵)、加藤、金原、菊地、池田、佐藤(あ)、車塚、清水、南澤<メネット>加藤、金原<ゲスト>Joan Elizabeth Wilson, Stuart Gary Wilson, Mietek Pokorski, Maria Pokorski, 佐山富城さん、佐山晃子さん、伊藤剛士さん、延与朋子さん、後藤直美さん

1. 開会点鐘 仙台クラブ会長 永井剛憲
2. 今月の聖句 詩編第98編1節
「新しい主に向かって歌え。主は驚くべき御業を成し遂げられた。右の御手、聖なる御腕によって、主は救いの御業を果たされた。」
3. ワイズソング・ワイズの信条
4. 会長挨拶 仙台クラブ会長 永井剛憲
5. ゲスト紹介 清水弘一
6. 北東部部長挨拶 北東部部長 中川典幸
7. 仙台YMCA会長挨拶 会長 菅野 健
8. 仙台YMCA総主事挨拶 総主事 村井伸夫
9. 食前感謝 仙台クラブ 佐々木絹子
10. 乾杯 仙台広瀬川クラブ副会長 加藤 研
<会食・懇談>
11. ゲスト挨拶・アピール・連絡報告など
12. 誕生祝い 佐藤善人さん、田中京子さん、遠藤勝志さん、伊勢文夫さん、南澤一右さん
13. ニコニコ
14. 閉会挨拶&閉会点鐘

仙台青葉城クラブ会長 菊地弘生
《合同例会のようす》

今回の合同例会の当番幹事は、仙台クラブさんでした。大変お世話様でした。TKP ガーデンシティ仙台勾当台店を会場に、中川北東部部長の公式訪問を兼ねた例会となり、ゲスト9名、3クラブから29名、の総勢38名の参加を得て大盛況に行われました。



ジョアン IPE より 3クラブに記念品贈呈

ゲストにカナダの次期国際会長のジョアン ウィルソンさんご夫妻と、ポーランドのマリア・ポコルスキーさんご夫妻をお招きし、ジョアン次期会長には、プロジェクターを使って、カリブ海区との結びつきや、グローバルな地域奉仕活動へ積極的に関わっていることをアピールされました。また2010年横浜国際大

会の際、その帰路の途中に友人と共に仙台に立ち寄られました。以前、ジョアンさん宅にホームステイされた、今回のゲストとしてお越し頂いた、学校教諭の佐山富城ご夫妻にお会いするためでした。

ところが、友人が仙台でアクシデントに合い、その治療のため滞在期間中、佐山ご夫妻に大変お世話になったことで縁が深まり、再びお会いすることとなりました。仙台では、被災地を訪問されたり、仙台の平和七夕を見学されたり思い出に残る滞在となったのではないのでしょうか。最後に、この交流と親善を記念して仙台3クラブとジョアンさんとの間で記念品の贈呈式を交わし、友好を深め合ったすばらしい例会となり、最後に、またお会いしましょうと約束しました。通訳をお願いしたゲストの伊藤剛士(石巻支援ター)さん、延与朋子さん、後藤直美さんには大変お忙しい中、ご参加頂き、感謝を申し上げます。(菊地記)



9月第二例会報告

日時 2015年9月3日(木) 18:45~20:45
場所 仙台YMCA会議室
出席者 尾木、加藤、菊地、佐藤(あ)、南澤、涌澤、青木

開会点鐘・会長挨拶 会長 菊地 弘生
協議事項 司会 尾木 善宣

1. 9月17日(木) 例会プログラムについて

年間行事では第2回目の料理対決を掲げていたが、8月の役員会で今年はやらないことで一致し、ゲストを呼んでスピーチを頂く方向に纏まった。今回は引き続きどなたをお呼びするかメンバーから意見が出されたが決まらなかったため、17日の例会までに間に合わなかった場合はEMC事業について勉強会を行う予定に変更することで一致した。

2. 9月23日(水) チャリティーランについて

駅伝の部並びにファミリーランのチーム申込をそれぞれ1チームエントリーすることで決まる。チーム名についていろんな意見が出されたが、決めるところまではいかなかったため、会長一任となった。

3. その他の協議及び確認事項について

十勝クラブから今年もじゃがいも・かぼちゃ販売の案内が届いていることを受けて、YMCAに

注文するための用紙を尾木ワイズからメンバーに配られた。10月26日以降に十勝から届きます。

4. その他連絡・報告事項

- ・仙台YMCAより 9月11～13(金・日)日東日本区主催のユースボランティアリーダーズフォーラム(山中湖K)に参加するメンバー2人が紹介された(前田さん、濱塚さん)。
- ・10月15日(木)「第18回チャリティゴルフ」参加要項の発送を開始した。
- ・10月31日(土)西山児童館祭りへの協力依頼の件はタイ焼き販売に決定。
- ・9月4日(金)北東部部会前日の東日本区理事来仙に係る行事の協力依頼についてはそれぞれの役割分担の確認が行われた。

(菊地記)

第19回北東部部会報告

開催日：2015年9月5日(土) 部会13時、
記念講演14時半、懇親会17時
場所：「TKPガーデンシティ仙台勾当台店」
出席者：加藤重雄、菊地弘生、清水弘一、南澤一右、涌澤博、加藤真子(ゲスト：石巻広域クラブ・平井孝次郎、日野峻)

テーマ：「クラブの結集軸は何か？」

来賓に、東日本理事渡辺隆氏、同次期理事利根川恵子氏、同直前理事田中博之氏、同書記仙洞田安宏氏、同会員増強事業主任池田直文氏、同ユース事業主任浅羽俊一郎氏並びに第19回東日本区 長野大会実行委員長森本俊子氏、同委員牛村永代氏、同委員倉石美津子氏、(仮称)石巻広域ワイズメンズクラブ設立準備委員長平井孝次郎氏、同委員日野峻氏をお招きし、総勢62名の参加で、大盛会に行われました。



《第一部》バナーセレモニー、中川北東部部長挨拶、区理事祝辞、来賓紹介、会長アピール、東日本区長野大会のアピール、そして、那須クラブ並びにもりおかクラブがクラブ活性化・会員増強で表彰された。来賓紹介では、(仮称)石巻広域ワイズメンズクラブ設立委員長の平井氏が石巻の被災に対し、東京YMCAが直ちに支援されたことへの謝辞があり、今後とも北東部の協力を期待を寄せた。ディスカッション「クラブの結集軸は何か？」と題し、横倉ワイズの司会により、池田会員事業主任、浅羽ユース事業主任、利根川区メ



ト委員長始め、参加クラブのキーマンから、例会の持ち方やCS活動のユニークな取り組み等貴重な意見を拝聴することができた。

「聖書朗読・開会の祈り」では、菅野ワイズより、日本やシリアの状況を思い、祈りの重みが伝わる言葉をいただいた。感謝です。

《第二部》では、元仙台青葉城クラブ会員の菊地茂(NPO法人シャロームの会)代表理事(→写真)が、「心の障がい者への就労支援」と題し、シャロームという合言葉を理念とし、それぞれの夢を叶える会として、発足時からいままでの活動を語っていただきました。終了後、利根川区メネット委員長出席の下、メネット会が開かれ、今年度の活動計画や国際プロジェクトの実施報告などが話し合われました。(↓写真)



《第三部》では、永井会長の歓迎の挨拶の後、利根川次期理事の乾杯で始まり、バンド「サテリナ」による南米ベネズエラハーブの演奏と歌で、場を盛り上げていただきました(↓写真)。



感謝のあいさつでは、部会実行委員長田村ワイズより、参加された方々に対し、思いあふれる感謝の言葉をいただきました。ありがとうございました。



<報告者・会長 菊地弘生>

東日本大震災支援活動関連ニュース 2015年9月号

▼東日本区理事一行被災地を訪問

北東部部会の前日午後、仙台市長訪問の後、涌澤博ワイズの案内で仙洞田書記、二子石書記と共に仙台市近郊の被災地荒浜地区と名取市閑上地区を訪問した。涌澤ワイズのこまかな説明を受けながら、まだまだ荒涼とした風景が続く荒浜地区、嵩上げ工事が急ピッチで進む閑上海岸の現状を視察された。(↓写真)



▼東日本大震災支援対策本部会議の開催

北東部部会が開催される9月5日午前10時より、仙台YMCAにおいて今年度第I回支援対策本部会議が開かれた。出席者は、渡辺理事、利根川次期理事、田中直前理事、仙洞田書記、二子石会計、井上委員、菊地委員、オブザーバーで清水ワイズ、村井総主事、横倉ワイズが出席した。最初に、渡辺本部長の挨拶の後、出席者の自己紹介があり、各委員と村井総主事から前年度の活動報告があった。今後の支援活動の在り方については、震災募金の状況、支援期間の問題、いま被災地で起きている仮設住宅の現状や課題などが話し合われ、11時半に終了した。

▼津波石建立計画について石巻名振地区と荻浜地区の住民代表との打ち合わせ

9月14日(月)、午後13時より荻浜総合支所にて各地区の代表、門岡支所長代理が出席、当方より東京むかでクラブの城井さん、神保さん、彫刻家の大塚先生、工事を担当する石心興業の高橋社長と清水ワイズが出席した。実際の工事施工は来年度夏以降であり、今回は、地元住民側との初の顔合わせと当方側からは、津波の教え石設置計画の趣旨説明を行った。

同日、午後3時半より、名振地区住民代表との打ち合わせ(↓写真)、現地調査を実施した。今後は12月中に基礎工事を終了、明年1月末津波石工事完成、2月末除幕式の日程で進めることで地元との合意があった。



▼福島原発事故除染エリア会津で今起きていること

会津クラブで支援を続ける会津放射能情報センター代表の片岡輝美さんより”考・震災「会津で起きていること」”題して、現状の活動報告がありました。

■会津放射能情報センターは1台目の食品放射能測定器GDM15を2011年10年に導入し、これまで米、魚、野菜、水、土壌など約2300回の測定を重ねてきました。1検体1kgを20分測るとおおよそのセシウム134と137の数値が得られますが、

さらに詳しく正確に調べるためには最短90分は必要です。となると、1日に測定できる件数も限られる為、2台目のGDM15購入を考え始めていました。これは、市民が

危機感や不安感を持ち続けることに疲れを覚え無関心になった結果、県内各地に設けられた役所や脱原発団体の測定所が休止や閉鎖になっている現状とは真逆のことです。私たちが測定を継続できるのは、専従スタッフがいること、測定代が全国からの協賛金により無料になったこと、そして何よりセンター会員が情報交換をし、危機意識を失わないようにお互いを支えているからです。今年3月末、2台目のGDM15購入もEMS(ドイツ連帯福音宣教会)から支援をいただきました。

■運動着や制服の測定

食べ物だけでなく、子どもの衣類の汚染状況を知りたいとの声があがりました。原発事故以降、真実を知る怖さを繰り返し経験し、さらに子どもの環境を直視することに緊張を覚えました。小学生の運動着15着とリュックサック6袋が集められ、細かく裁断し測定が始まりました。結果は現実を知ることにな



りました。重さ1kg換算のリュックサックから、セシウム134、137合算で平均24.6ベクレル、最大30.6ベクレルが検出されました。事故前に使用されていたナップサックは不検出です。運動着は平均15.1ベクレル、最大はこちらも30.6ベクレル検出で、砂埃でズボンに上着より大きい数値が検出。全て洗濯済

(仮) 石巻広域新クラブ設立準備報告

みのものですが、繊維の中に入り込んでいると考えられます。ベクレルとは、1 kgまたは1平方メートルから、毎秒飛び出している放射線の数を示します。ですから、運動着は1 kgありませんが、子どもが毎秒確実に放射線を浴びているということが分かりました。小学生の制服からは61.9 ベクレルが検出。母親は、不安を覚えながらも、経済的な負担で制服を新調しなかった自分を責めています。

チェルノブイリ原発事故以降、子どもたちは放射線防護教育として、帰宅したら靴を脱ぎ、服を着替えることを教えられていると聞きます。日本でも自分で自分の身を守る教育が必須だと思います。

■ 滑り台を撤去しました

40年以上運営された若松栄町教会ベビーホームの子どもたちや我が家の息子たちが遊んだ滑り台を昨年7月に撤去しました。足を着地する所は、雨や雪が流れ落ち溜まり、乾燥し濃縮を繰り返すために、キロ当たり4500ベクレルのホットスポットになりました。2013年7月の測定ですから、丁度セシウム134の半減期になった頃であり事故直後は6000ベクレル近くあったと思われます。私は、子どもたちの笑顔や歓声の思い出がある滑り台を何とか残したく、土の除去や炭をまきましたが、線量が落ちることはありませんでした。

ある日、会員の親子が滑り台で遊び始めましたが、数値を知っている母親が「離れて！そこは線量が高いよ！」と叫ぶのを聞き、ついに撤去を決心。工事が終わった夜に息子たちに報告しました。20代の彼らは「放射能はそうやって、思い出も奪っていくんだ」と、心から悔しがっていました。今年5月、再び空間放射線量を測定した結果、0.4 μ SV/h以上を検出。私のウクライナ製測定器は0.3 μ SV/hで、近づいてはいけないと警報音を出します。一度沈着した汚染は、そこに留まり続けることが分かりました。

県内は復興の呼び声とともに、除染が進められていますが、その効果がどれほどなのかは分かりません。分かることと分からないこと、知らされることと知らされないことの狭間に、私たちの日々が続いています。

●9月の設立準備委員会は次の通り開催され、終了後は、軽食と懇談の時の持ちたいと思います。

・開催日 2015年9月26日(土) 17時～19時
・場所 YMCA 石巻支援センター

●9月5日に開かれた北東部部会には、平井孝次郎設立準備委員長と日野峻委員が参加し、現状報告と今後の設立に向けてのアピールがありました。

また懇親会では、石巻新クラブ設立のために会場献金が行われ、代表して日野委員が受取りました。

第19回北東部部会



10月×ネットナイトのご案内

ーワインを飲みながら野菜ソムリエのお話をお楽しみ下さいー

開催日 2015年10月15日(木)
開催場所 仙台YMCAサービス実習室
ゲストスピーカー

「みやぎ野菜ソムリエの会」
只浦 徳子さん

☆みやぎソムリエの会☆

「畑から食卓まで」をモットーとし、消費者への県産伝統野菜や果物等の認知と食育に取り組み、料理教室、セミナー、各種イベントなどを通じて野菜や果物の美しさの再発見に寄与する活動を行っています。



佐藤あつ子さんより・・・私の主人が福島転勤の折、社宅が近くお付き合いするようになり、40年にもなります。

北海道十勝のおいしい じゃがいも・かぼちゃを お届けします！



- 数量 限定じゃがいも 150箱 かぼちゃ 100箱
- 費用 じゃがいも 10kg 2,200円
かぼちゃ 10kg 2,800円
- お申込み方法 注文用紙に記入の上 FAX または、お電話にて仙台YMCAにお申込みください。
- お支払方法 担当主事か受付窓口にお支払いください。
- お渡し日時 10月26日(月)以降
- お渡し場所 立町本館1階窓口



▼東日本区理事メッセージ (理事:渡辺 隆)
主題:「原点に立って、未来へステップ」



8月の酷暑がどこにいったのか、季節通りの日常が崩れると、自然の中で生かされている我々に思わぬ負担が課せられることがあります。しかし、ワイズ活動は会員の皆様のご努力で確

実に今年度の事業が遂行されています。

8月29日の北海道部会・札幌クラブ60周年記念祝会の開催を皮切りに北東部、湘南・沖縄部、富士山部、関東東部、東進部あずさ部の各部会が10月までに開催されます。部長のリードのもと、事業主任の方針を受けて部主査から各クラブに個々の活動が伝達・実施されていることと思います。

9月はユース強調月間です。未来に向けて、次世代、次々世代の若者といかに考えを共有できるか、待っているのではなく、若者の中に飛び込み、心を通わせ、若者にも分かり易いワイズメンを目指し、未来にステップとの方針を掲げさせていただきました。

9月11日～13日にはユースボランティア・リーダーズフォーラム(YVLF)が東京YMCA山中湖センターで開催されます。

浅羽ユース事業主任の主題は「もっと若者に歩みよろうぜ」です。ワイズの信条に「青少年のためにYMCAにつくそう」があります。若者と接することで、ワイズ-YMCA-ユースで我々のクラブの地元地域奉仕活動のヒントが得られるかもしれません。ぜひ、このフォーラムに参加され、若者との窓口を作りましょう。

8月からSTEP事業として東西日本区でお迎えしましたロシアのマトベイ君は、ホストファミリーの吉田紘子メン(東京むかで)、利根川恵子次期理事(川越)のご協力をいただき、無事帰国したとお聞きしました。ユース委員会の皆様、多くのご協力をいただきました会員の皆様に感謝申し上げます。

また、9月中旬から一ヶ月にわたりBF代表として小山久恵ウィメン(東京サンライズ)がオーストラリアに行かれます。ご無事を祈り、帰国後の報告を楽しみにさせていただきます。

★★★★★ 理事はトップセールスマン ★★★★★

9月4日(北東部部会の前日)、奥山恵美子・仙台市長を表敬訪問しました。菅野健・仙台YMCA会長、村井伸夫・仙台YMCA総主事、中川理事典幸・北東部部長とともに、東日本大震災支援活動や仙台YMCAの事業、RBM(ロールバックマラリア)の取り組み等をPRしました。(訪問時写真は理事通信第3号に掲載)



(1) 第21回仙台YMCAインターナショナル・チャリティラン2015が開催される

9月23日(水・祝)秋晴れの下、第21回目となる大会が、東北学院大学泉キャンパスを会場に、駅伝の部41チーム、ファミリーラン29チーム、参加延べ人数は、さとう宗幸大会会長を始め700名を超える大会となりました。今回は盛岡YMCAからも3チームが参加、ランナー、賞品提供、応援団としてご協力いただいたワイズメン・メネットの皆さまに感謝申し上げます。

(2) 仙台YMCA国際ホテル専門学校学園祭

- ・実施日 2014年9月26日(土) 11:00~14:00
- ・場所 仙台YMCA立町本館

(3) 第17回仙台YMCAチャリティゴルフ

- ・実施日 2014年10月15日(木) *雨天決行
- ・場所 泉国際ゴルフ倶楽部(会費:4,000円)

< HAPPY BIRTHDAY >

- ・9月4日 尾木 善宣さん

クラブ・今後のスケジュール

- 9月26日(土) 石巻広域クラブ設立準備委員会
YMCA石巻支援センター 17時
- 10月01日(木) 仙台青葉城クラブ第2例会
- 10月15日(土) 仙台YMCAチャリティゴルフ
10月第一例会(メネットナイト)
- 10月17日(土) 石巻広域クラブ設立準備委員会
- 10月31日(土) 西山児童館秋祭り(13時~15時)
- 11月05日(木) 仙台青葉城クラブ第2例会
- 11月19日(木) 11月第一例会

編集後記

▼先月、全国の高校野球ファンを熱狂させた決勝戦で惜しくも仙台育英高校は準優勝に終わったが、その戦いぶりは東日本大震災の被災地の方々を大いに元気づけてくれた。同校の決勝進出にあたって私たちクラブ発起人一同は、その健闘を記念して東日本区の「YES基金(新クラブ設立を目指す目的の基金)」への賛同者をワイズドットコムを通じて募った。その結果は、全国のワイズメン、ウィメン、メネット、クラブ、グループから計82件、643口、321,500円もの尊い金額が区の基金に協力することができた。いかに新クラブへの設立を期待している仲間がいることを改めて感じ、設立実現に向けて更なる努力を重ねて行きたい。(弘)